

# 令和2年度 決算報告 ~南魚沼市の令和2年度決算が、市議会で認定されました~

【問合せ】 財政課 財政係 ☎773・6671

## 令和2年度 一般会計決算総額

歳入 **423億8,871万円** (前年度比 +90億6,931万円)

歳出 **407億7,769万円** (前年度比 +89億2,710万円)

## 令和2年度 特別会計決算総額

歳入 **125億8,456万円** (前年度比 △2億2,799万円)

歳出 **124億7,728万円** (前年度比 △1億1,408万円)

### 特別会計内訳

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険	52億9,770万円	52億4,383万円	5,387万円
後期高齢者医療	6億800万円	5億9,834万円	967万円
介護保険	65億5,230万円	65億2,411万円	2,820万円
城内診療所	1億2,655万円	1億1,101万円	1,554万円

※端数調整の都合で表示値と計算値が整合しない場合があります (以降同様)

### 企業会計決算額

水道事業会計	収入	支出
収益的収支	17億5,877万円	17億5,497万円
資本的収支	5億3,611万円	17億4,100万円
計 (前年度比)	22億9,489万円 (+1億1,003万円)	34億9,597万円 (+1,738万円)

病院事業会計	収入	支出
収益的収支	52億363万円	57億7,647万円
資本的収支	8億358万円	10億2,330万円
計 (前年度比)	60億720万円 (+794万円)	67億9,977万円 (+2億9,159万円)

下水道事業会計	収入	支出
収益的収支	33億5,542万円	30億9,993万円
資本的収支	27億9,652万円	36億3,538万円
計 (前年度比)	61億5,194万円 (+8,040万円)	67億3,531万円 (+4,001万円)

※収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みです

### 市の財産 (令和2年度末現在)

土地	2,108万1,169㎡
建物	31万8,158㎡
有価証券	4億3,100万円

### 主な基金の残高 (令和3年5月末現在)

財政調整基金	23億2,669万円
減債基金	1億394万円
合併振興基金	33億7,280万円
文化・スポーツ奨励棚村基金	7,374万円
国際交流及び文化スポーツ基金	7,441万円
ふるさと応援基金	21億6,204万円
人材育成及びリゾートオフィス・田園都市構想松井基金	2億9,927万円
その他	14億9,830万円
合計 (前年度比)	99億1,120万円 (+19億1,781万円)

### 市債の残高 (令和2年度末現在)

一般会計	353億8,593万円
水道事業会計	82億174万円
病院事業会計	51億3,936万円
下水道事業会計	264億2,881万円
合計 (前年度比)	751億5,585万円 (△38億546万円)

## 目的税注1の用途状況

**入湯税**：環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設などの整備や観光振興に要する費用に充てるため、入湯客に対して課税しています。

令和2年度収入額：1,573万円

事業区分	事業費	入湯税充当額	充当事業の内容
環境衛生設備の整備	4億1,009万円	358万円	可燃ごみ処理施設の整備など
消防施設などの整備	2億6,482万円	24万円	ポンプや消火栓、消防庁舎空調、消防団車両の整備など
観光施設の整備	665万円	49万円	八海山麓観光施設の整備
観光振興	1億6,683万円	1,142万円	観光PR業務、道の駅南魚沼管理運営費、観光協会運営費補助、観光イベントへの補助など

注1 地方税の中で、一定の政策目的を達成するために用途を限定して課税するものを目的税といいます

## 主な財政指標 (令和2年度地方財政状況調査注2)

項目	数値	説明
標準財政規模	198億6,641万円	地方公共団体で標準的に収入が見込まれる一般財源の規模
財政力指数	0.412	地方公共団体の財政力の強弱を示す指標（平成30年度～令和2年度の3か年平均） ※この数値が1以上の団体は、国からの普通交付税が交付されません
実質収支	12億9,657万円	歳入総額と歳出総額の差額から翌年度に繰り越すべき財源を引いた額
経常収支比率	87.8%	毎年度義務的・経常的に支出される人件費、扶助費、公債費などの経費（経常的経費）が、使い道が特定されずに経常的に収入される市税や普通交付税などの一般財源の額（経常一般財源）に占める割合 ※比率が高いほど、財政構造の硬直化が進んでいることを表します

注2 全国市町村の普通会計決算状況について、統一的な方法で行われる調査。普通会計として、一般会計と城内診療所特別会計を合わせた額で作成しています

## 令和2年度決算に基づく健全化判断比率など

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、令和2年度決算に基づく健全化判断比率と公営企業会計の資金不足比率を算定し、9月定例議会に報告しました。いずれも早期健全化基準を下回っています。

### 健全化判断比率

(単位：%)

健全化判断比率	令和2年度決算	令和元年度決算	比較	早期健全化基準	財政再建基準	説明
実質赤字比率 (一般会計等分)	-	-	-	12.51	20.00	収入注3に対する年間赤字の割合を示した数値
連結実質赤字比率	-	-	-	17.51	30.00	実質赤字比率を特別会計・企業会計を含めた全会計に適用した数値
実質公債費比率 (3か年平均値)	12.9	14.0	△1.1	25.0	35.0	収入注3に対する年間の市債償還額の割合を示した数値
将来負担比率	71.0	106.5	△35.5	350.0		一般会計などが将来にわたって負担する負債が、1年間の収入注3に対してどれくらいかを示した数値

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「-」で表示しています

注3 説明中の収入は標準財政規模をいいます

**資金不足比率**：公営企業の事業規模に対する資金の不足額の比率を示す指標です。

水道事業会計、病院事業会計、下水道事業会計の全会計で、前年度に引き続き、いずれも資金不足は生じてなく、経営健全化基準（20.0%）を下回っています。

令和2年度決算の詳細は、本庁舎（財政課）や図書館（駅前図書館本の杜、大和公民館、塩沢公民館）でご覧いただけます。気軽におこしください。  
市ウェブサイトでも公開しています。

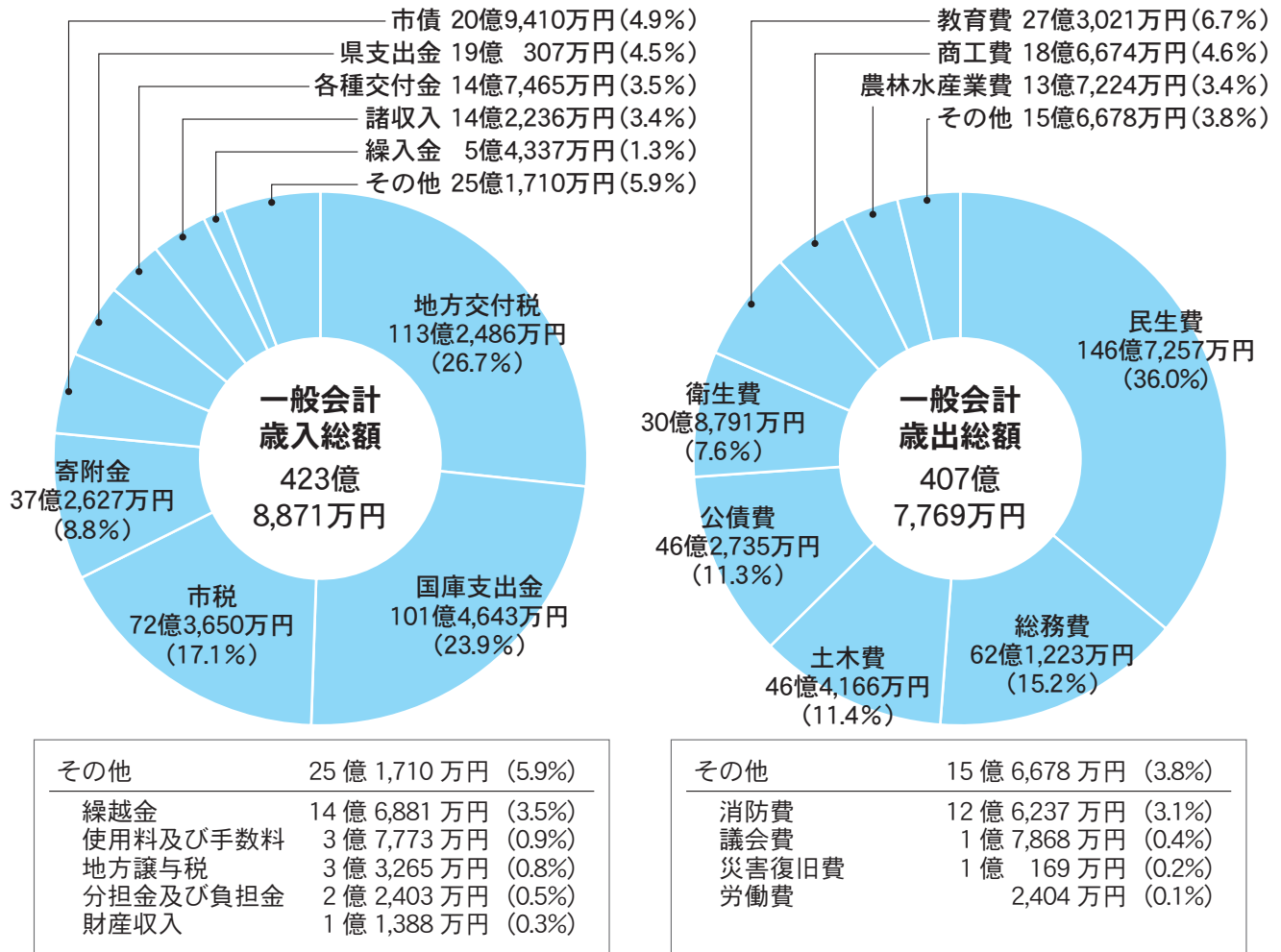
南魚沼市 決算

検索



<http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/shisei/kaikaku/zaisei/kessan/index.html>

## グラフで見る令和2年度一般会計決算の内訳



## 主な南魚沼市の新型コロナウイルス感染症対策事業

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策事業を行い、決算額が前年に比べプラス90億円と大きく増額しました。そのうちの56億円は特別定額給付金事業（国の給付金事業で、1人につき10万円を給付）ですが、その他に市では多くの独自事業を行いました。主なものは次のとおりです。

事業名	事業の説明	決算額
南魚沼市事業継続給付金	国の持続化給付金の対象とならない、売上減が5割未満の事業者を対象に給付金を支給しました。	1億2,361万円
南魚沼市経営支援給付金	経営が圧迫している市内業者に固定費を包括的に支援するため、給付金を支給しました。	4億8,540万円
ひとり親家庭等支援事業	ひとり親世帯や障がいのある児童を養育する世帯に対して、負担軽減を目的に給付金を支給しました。	2,314万円
水道料金の基本料の減額	市内の全世帯と事業所への支援として、水道の基本料金を6月使用分から3か月分を半額としました。	7,286万円
わがまち応援プレミアム付飲食・宿泊券発行事業	新型コロナウイルスにより影響を受けた市内の飲食・宿泊業を支援するため、プレミアム付き飲食・宿泊券を発行しました。	2億4,687万円
地域公共交通事業者支援事業	交通事業者に対して、地域公共交通の確保のために保有台数などに応じ支援金を支給しました。	741万円
給湯器設置事業	冬期における子どもたちの手洗い励行の補助として、公立保育園、公立学校に手洗い用給湯器を整備しました。	4,897万円
南魚沼市ふるさと応援プレミアム旅行券発行事業	市内の宿泊業などを支援するため、市内の宿泊施設に宿泊する人に向けて、宿泊券と地域利用券のセットを発行しました。	7,000万円

## 令和2年度の主な事業

### 1 保健・医療・福祉

#### 保育園大規模改修工事

継続 7,025万円

下長崎保育園を整備し、上・下長崎保育園を統合した「うえだ保育園」を令和3年度に開園しました。

#### 地域医療対策事業

継続 2,372万円

地域医療促進のための寄附講座を開設し、医師不足対策に取り組みました。

地域医療に対する課題に全庁をあげて取り組むため、医療対策推進本部を設置しました。実務的な部分については他職種によるタスクフォース（特別チーム）を下部組織に設置し、実効性のある検討を進めました。

### 2 教育・文化

#### 郷土史編さん事業

令和元年度繰越事業 436万円

平成13年度から編さんを行っていた「六日町史」（全6巻）をすべて発刊しました。既刊の「大和町史」（全4巻）、「塩沢町史」（全4巻）と合わせて、合併前3町の町史が揃いました。各巻は社会教育課窓口、市内公民館で販売しているほか、図書館で閲覧できます。



#### RIDE ON 南魚沼プロジェクト事業

継続 466万円

自転車を活用し、地域活性化につなげることを目的としたプロジェクトを進めています。令和2年度は自転車ウェルカムなまち南魚沼を、住民や観光客へPRするため「南魚沼サイクルステーション」の整備を行いました。



### 3 環境共生

#### 地盤沈下対策事業

継続 1,173万円

地下水位などを観測しつつ、地盤沈下や渇水対策に有効な施策の研究を行いました。また、地下水利用の適正化を促進するため、高性能降雪検知器の設置に対し、費用の一部を助成しました。

### 4 都市基盤

#### 道路橋りょう除雪事業

継続 16億2,356万円

大雪の影響により過去3年平均（約13億6千万円）に比べ増額となりました。

降雪シーズンを前に、イオン六日町店の駐車場を会場にして、南魚沼地域合同除雪出動式とニイガタ除雪の達人選手権を開催しました。



#### 街路新設改良事業

継続 6億1,284万円

市民生活の利便性の向上を図るため、都市計画決定された街路（道路）の改良を行いました。

令和元年度継続事業 3億5,981万円

継続費最終年度として樋渡東西線アプローチ部工事を行い、令和3年8月2日に開通しました。

### 5 産業振興

#### 店舗バリアフリー改装補助金事業

新規 226万円

市内中小事業者などの事業活動を支援し、障がい者などの社会参加を促進するため、市内飲食店、宿泊施設が行う市内の施工業者によるバリアフリー化工事に対して、費用の一部を補助しました。

### 6 行財政改革・市民参画

#### 移住・定住促進事業

継続 1,919万円

新型コロナウイルス感染防止の観点から、令和2年度はインターネットを利用したオンラインセミナーを中心に事業を進めました。

#### 緊急時情報伝達事業

拡充 2,087万円

緊急告知FM（防災）ラジオの一般販売を開始し、要配慮者や高齢者のいる世帯などには購入費補助制度を設け、災害などの緊急情報伝達体制を強化しました。